

# 市議会だより

市政に関する一般質問の概要

6月定例会

今回の一般質問は6月16日・17日・18日の3日間、16名の議員により  
今日的な市政の重要課題について執行部の考えをたどりました。

## 市民本位の広報について

島田 千寿

**問** 現在の市の広報は、伝えたい側の都合による広報であり、市民が知りたい情報とギャップがあるのでないかと思えます。結果として、不安や誤解などにつながっているのではないのでしょうか。市民が知りたいと思う情報を正確かつタイムリーに伝達してほしいと考えます。市の考えを伺います。

**答** 広報の基本は、「理由とプロセスを、ありのままに、わかりやすく」と考えており、「職員みんなが広報・広聴マン」と位置付け、市民の声を聞き、市民の知りたい情報をしっかりと把握し、リアルタイムに広報できるように取り組んでおります。

一方で、職員の表現力アップと広報すべき情報に対しての意識醸成が必要と考えており、職員力を育成していきます。

## 地域医療と市民病院の充実に

ついで

鷹見 信義

**問** 市民病院内科の受診抑制の体制になっての実績、その経営的影響はどうであったのか。市民病院が地域の中核病院としての青写真はどこまでできたのか。独自制度、施策で研修医、MA（メディカルアシスタント）、看護師の増加はできないのか伺います。

**答** 内科の4月入院・外来患者は、対前年4月比で35%減少しており、経営的には、4月実績で、昨年と比べ医業収支は444万円減少しました。

中核病院としての青写真は、中津川市地域保健医療計画に沿って策定を進めています。市民病院は急性期医療、入院を必要とする医療、救急医療、周産期医療、坂下病院は慢性期医療、地域で不足する医療、この

地域で必要な救急医療および保健予防から在宅医療までの包括医療を分担することとしています。

研修医確保については、研修プログラムの変更、勤務医の負担軽減・処遇改善委員会を立ち上げ検討しており、看護師確保については、HP、ポスターの作成、待遇改善の見直しなどについて、若い看護師を中心に検討をしているところです。MA（メディカルアシスタント）については、多忙な診療科である産婦人科に配置しています。

## ミックス事業反対を理由に指名からはずすのは報復恐怖政治だ

片桐 光朗

**問** 市はミックス事業に反対などを理由に、鈴木雅彦議員が所属する会社の指名をやめ、提訴されている。議員は市民の声を代弁する責務があり、市長の意に反対だからと指名しないのは、報復、権力、恐怖政治だ。許されないとと思うがどう考えているか伺います。

**答** 係争中でありお答えできません。

## 障がい者、妊婦、乳幼児連れの駐車場について

田口 文数

**問** 障がい者の方、妊婦さんの駐車場はありますが、マークが統一されておらず、わかりにくい。①内部障

がい者の方も気軽に停めていただき、妊婦、乳幼児連れの方のために、広く改善・改修をするべきではないでしょうか。②HPにわかりやすく掲載してみたいかがでしょうか伺います。

**答** ①要望の多い箇所から整備し、スペースに余裕のある施設は改善・改修を順次行なってまいります。②今年度作成予定の「子育て支援マップ」に掲載し、市のホームページおよび「安心子育てガイド」などでPRしてまいります。

## 中津川市民病院の現況と今後について

深谷 勲

**問** 内科医減少による収支の現況と今後病院経営をどのようにするのか。資金不足は起こらないのか。そのときはどのように対処するのか伺います。

**答** 昨年の4月に比べて医業収支は悪くなっており、患者数も減少しています。4月だけで今年度1年間を予測することは困難ですが、内科医減少が病院全体の収支に大きく影響するものと考えています。4月の状況が続くとすれば、運転資金が不足する恐れがありますが、追加繰入が必要とならないよう、病院職員一丸となって努力します。

## 公有資産（土地・建物）の利活用 について

大堀 寿延

**問** 市の公有地借地料年間6千348万円の支出額になっており、市の財政を圧迫しています。土地には必ず相続関係が発生し、土地所有者に将来どのような事情が発生するか予測できないため、借地であってはならない。また、借地料の算定基準が異なっています。

今後、公共施設用地の借地料の見直しをどのように解決していくのか。市有財産利活用の基本方針の実現に向けて、どのように考えているのか伺います。

**答** 本年度中に複数の土地鑑定士の意見を参考に、賃貸借料算定基準を策定します。また、基本方針に基づき、総務部が中心となって各種実施計画を策定していきます。

本年度中に市有地売却計画を策定するとともに、借地の返還・買取り計画、貸付地の売却計画は23年度、施設の見直し計画は24年度を目的に実施計画を定め取り組んでまいります。

## 「ジョイセブン」(助)中津川・恵 那地域勤労者福祉サービスセン ターについて

櫛松 直子

**問** (助)中津川恵那地域勤労者福祉サービスセンターについて、厚生労働省の「中小企業福祉事業費補助金」が打ち切りとなる平成23年度以降も市からの助成が継続できるか。市内の中小企業支援や勤労者支援のみならず、定住対策の一つとしても有効であるため、助成を継続してほしい。

**答** (助)中津川恵那地域勤労者福祉サービスセンターの自立化に向けた自立化検討委員会を開催しており、その検討結果を踏まえ、関係する恵那市とも連携し、市として適切な支援策を検討、判断していきます。

## 防災行政無線について

黒田 ところ

**問** 市民の暮らしの安心安全のために防災行政無線は大切です。しかし、現状は老朽化が進み充分機能しているとはいえません。防災行政無線が新しく整備されるまで、老朽化したものをどう維持し、市民にどのような情報を周知していきますか伺います。

**答** 無線設備の更新までは既存設備の維持管理を十分行い、延命化を図っていきます。また、市民への情報

周知は、市民安全情報ネットワークやホームページなどによる情報配信と緊急時には自主防災組織の連絡網により行います。

## 中津川市史について

佐藤 光司

**問** 市民が市史に関心が持てるきっかけと、歴史資産が観光に活かされることを願う。①資料の収集 ②調査 ③整理・保管 ④展示・公開 ⑤観光活用についての現状や考え、対応はどうか。

「雨の中津川」の絵など包装紙の作成など商業サイドでの利用に対する考えはどうか伺います。

**答** 資料の価値の重要度を問わず、資料の収集保存にあたっています。専門的な知識が必要な資料もあり、名称のみで内容をまだ把握しきれていない資料もあります。中津川市史編さんにあたっては、文化財学習センターの収蔵室に資料を保管し、管理しております。

## 校庭の芝生化について

鈴木 清貴

**問** 中津川市においても、子どもたちの心身両面で効果があるといわれる校庭の芝生化には地域の方、保護者の方の協力も仰ぎながらの自助努力と行政との協働で取り組む必要があると考えますが、校庭の芝生化に

ついでの見解を伺います。

**答** 子どもたちの健康や心身の成長を考えた場合、芝生化も教育環境改善のための選択肢のひとつと考えています。今後鳥取方式を含め研究し、有効性や経済性があると認められれば手始めに園庭などの一部をモデル的に芝生化できないか検討したい。

## 中津川市におけるNPO法人・ 市民団体との連携について

三浦 八郎

**問** 中津川市として、「新しい公共」といわれるNPO法人や市民団体を公的サービスの担い手として協働していくことが大切。そのためには1パーセント法を制定したり、NPO法人受付に関する窓口を設置する考えはないか伺います。

**答** 公平性や費用対効果などの面で課題があることから、現在市では1パーセント法の制定は考えていません。また、NPO法人の窓口設置は、受付認証を県が行っていることから、市として設置の予定はありません。

※1パーセント法とは、個人市民税の1%を上限として、ボランティア団体・NPO団体など市民活動団体の支援に充てる制度(団体が市民に事業をPRし、市民が支援したい団体に投票し交付金額を決定する)

## 少子高齢化時代とまちづくり 移住・定住本部設置と目的について

鷹見 憲三

**問** 少子高齢化のすすむ中津川市にとって「未来のまちづくり」のためには、少子化対策と若者の定住政策は重要であります。

**答** 安全で安心して住める未来のまちづくりのため「移住・定住本部」を設置されたことは意義あり、若者が住みたくなる魅力づくりなど、今後の予定・効果などを含め具体的にはどのような政策なのか伺います。

**問** 人口減少を食い止める施策として3点セットと4つの施策を進めることで、地域活性化を図り活力あるまちづくりを進めていきたいと考えております。

具体的には専門部会により現状分析を行い、総合的にインパクトのあるものを発信できるように準備してまいります。

## 特別養護老人ホーム(特養)の増床(改築)を支援する方策について

可知 いさむ

**問** 市内の特養の待機者数は何人か。また、特養の入所費用が高すぎて入れない状況もあるのではないか。国・県に事業者の施設改築やベッドの増床に更なる支援制度の創設を要望

するとともに、市単独の支援の方策を検討できないか伺います。

**答** H21・6・1現在の入所申込者数は968人で、うち1年以内に入所を希望されている方は488人です。国、県に補助の要望をしており、具体的には全国市長会で、介護サービス基盤整備について、財政措置を含む必要な対策、および老朽化施設の維持のため、大規模修繕に対する財政支援措置を講じる要望が採択されました。また、市の支援では、整備について県の補助基準単価の1/10を補助することとなっております。

## 口蹄疫対策について

中島 敏明

**問** 宮崎県で発生した口蹄疫、県内・市内では疑似患畜がなく、ほっとしておりますが、どこからどのように感染するか知れません。一般市民にはどのような対策を、また、生産者農家の希望や配慮などについて把握しているか。獣医技術者の対応は充分かについて伺います。

**答** 一般市民へは、市HPで口蹄疫に対する情報提供と愛玩偶蹄類の飼育情報の提供を呼びかけています。生産農家の不安は理解しており、要望も把握しています。獣医師は、5名(うち嘱託1名)で対応しており、現状では充足しています。

## ミックス事業今後の展開について

原 昌男

**問** 設置計画の地元の了解が得られない以上、津戸を白紙に戻して他に転換するほかはないと思われるがいかが伺います。

**答** 候補地選定にあたっては、地元提案の1箇所も含めた33箇所の中から、技術的専門機関監修の計画設計要領に基づいて、公平・公正に選定したものであり見直すつもりはありません。

## 苗木浄化センター隣接地に柵を設置した点について

鈴木 雅彦

**問** 柵の設置は、3月議会での市長答弁を否定するように受け止められますが、地元の反響はいかがですか。設置費用はいくらかかり、根拠は何ですか伺います。

**答** 地元の反響は、「話し合いは、柵と看板の撤去が何より一番」と言われています。また、設置費用は約100万円で、地元から要請され、祠

## 市議会インターネット中継のお知らせ

- 市議会では、市民の皆様により広く開かれた議会をめざし、平成21年からインターネット中継を実施しております。
- ライブ中継をご覧になれる方は、編集後の録画中継(ライブ中継8日目から実施)をご利用ください。
- 市議会定例会(本会議)の日程は、市議会ホームページと広報なかつがわに掲載しています。

9月定例会における委員会の日程

日	曜日	内容	場所	時間
15	水	文教消防委員会	5-1委員会室	10:00~
16	木	民生委員会		
17	金	産業建設委員会		
21	火	総務企画委員会		

※本会議の日程はP35「9月の行事予定」に掲載

**問** 議会事務局 (☎内線503)

までの通路を確保しました。その柵移設費用は約12万円です。

一般質問は、抜粋で掲載していますので、詳しい内容は会議録をご利用ください。なお、会議録は9月1日(水)から市役所で閲覧できます。また、市議会ホームページでも9月1日(水)から公開します。